

経営比較分析表（令和5年度決算）

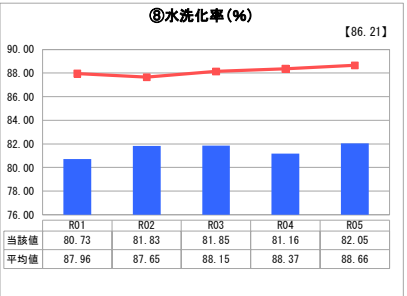
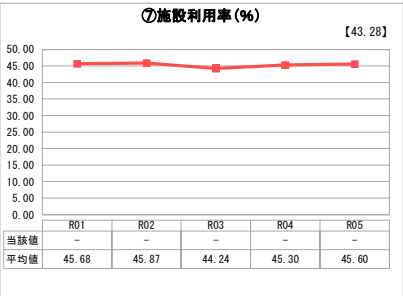
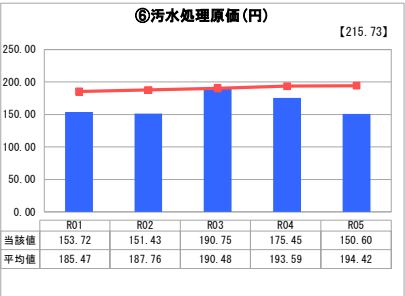
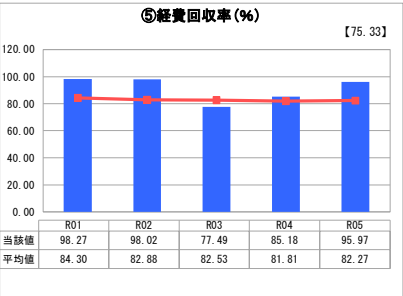
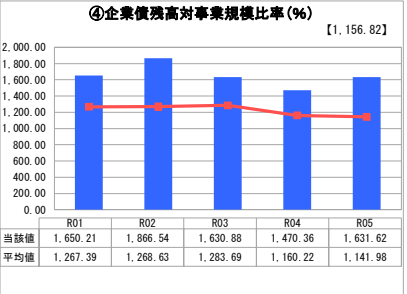
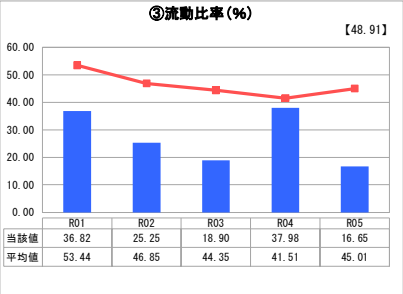
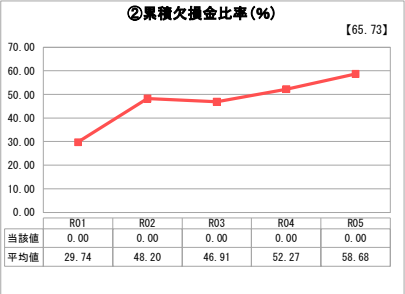
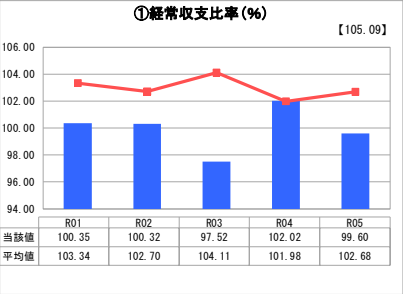
栃木県 宇都宮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	72.45	6.47	63.82	2,695

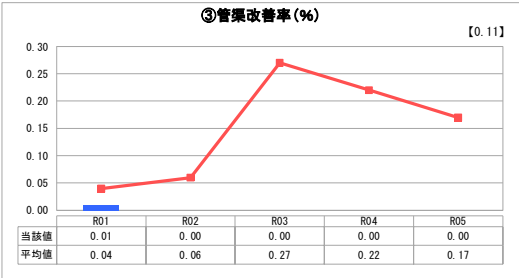
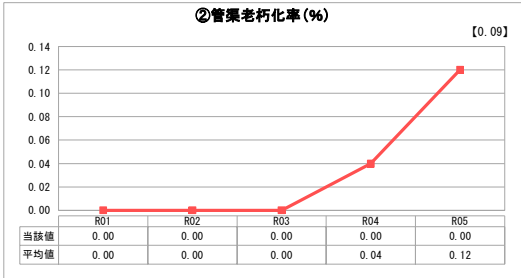
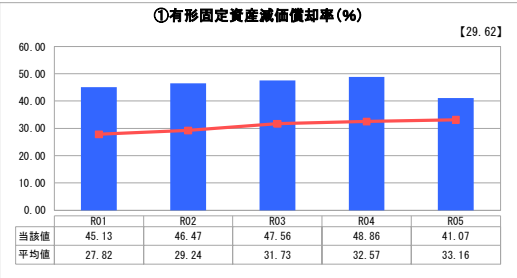
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
515,831	416.85	1,237.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
33,255	15.18	2,190.71

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は、下水道使用料の減少などによる営業収益の減少により低下したものの、概ね100%となっている。

「③流動比率」は、現金預金の減少により低下した。

「④企業債残高対事業規模比率」は、営業収益の減少に伴い、前年度比で増加した。

「⑤経費回収率」は、100%を下回って推移しているものの、令和5年度は、汚水処理費の減少により、前年度比で増加した。

「⑥汚水処理原価」は、汚水処理費の減少に伴い、減少した。

「⑧水洗化率」は、ほぼ横ばいで推移している。

類似団体と比較すると、管渠の整備を実施していることから「④企業債残高対事業規模比率」は類似団体より高くなっているものの、「⑤経費回収率」については類似団体より高く推移していることから、一定程度、健全な経営状態にある。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、固定資産台帳のセグメント区分の中で資産の移動が生じた結果、減少した。

「②管渠老朽化率」は、耐用年数を迎えた管渠はなく、0%となっている。

「③管渠改善率」については、他事業に伴う管渠移設工事のあった令和元年度以外は、0%となっている。

類似団体と比較すると、「①有形固定資産減価償却率」が高くなっており、主に施設において、老朽化が進行している。

全体総括

類似団体に比べ効率的な経営が図られているが、老朽化が進行しており、今後、点検・調査結果を踏まえ、着実かつ計画的に更新工事などを進めるとともに、特定環境保全公共下水道事業を円滑に進めていくためには、資金需要などに対応しながら安定的な経営の維持に努めていく必要がある。

そのため、D Xの推進や施設の効率的な維持管理など、汚水処理費用の更なる抑制に取り組むとともに、経常収益の適切な確保に努めることで、経営の健全化・効率化を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。